

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	7年8月7日・8日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

全園児…ふうせんかずらの葉や実を五感で楽しむ。

<テーマ設定理由>

・春に植えたふうせんかずらに実がつき、触ったり、膨らんだ実の中はどんなってるのかを見る。

## 2. 活動スケジュール

・各クラスでふうせんかずらのつるを用意し、葉っぱに触れたり実に触れる。  
・少人数に分かれて、葉の匂いを嗅いだり、見たり触れる。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ふうせんかずらのつる
- ・トレイ
- ・たらい
- ・シート
- ・透明な容器

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

・各クラスごとにふうせんかずらのつるに触れて、子どもの様子やつぶやきを聞く。  
・0, 1歳児・・・葉っぱを見て触ったり、指でつまんだりする。透明な容器に入れて転がる様子を見る。  
・2歳児・・・つるを振って、音や匂いを嗅ぐ。種の色の違いが分かり、透明なケースに分けていれる。  
・3歳児・・・種の模様や色を友達と共有したり、種の数を知る。  
・4, 5歳児・・・種の中がどうなっているのかが気になり皮をむく子がいた。保育士が種を半分に切り断面を見せたり、ケースに入れて音を聞く。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・ふうせんかずらの葉っぱに触れ、その後、実に気付き両手で実を持つとする。  
・実を持ち、片手で引っ張ってみるが実がつぶれてしまう。  
・保育士が実を破いて見せると、覗き込み、種が出てくると手を叩いて喜ぶ。  
・葉や実をつまんで引っ張っていると、実の中に種が入っていることに気づいた。  
・種を出して集め始める。  
・種を入れる容器を渡すと、種が転がる様子を見ていた。  
・「これは何？」とふうせんかずらの実を見せると「葉っぱ」と言う。  
・緑色の種と黒色の種を色別に分けてケースに入れて眺める。  
・出てきた種をみて「赤ちゃんでできたー」「ハート可愛い」「みてー白と黒」「茶色いけどみどり出てきた」「黒でてきた」と種の色の違いや、模様に気付き、発見した気持ちを教え合っていた。  
・取り出した種を数えたり、触って「やわらかいね」「コロコロする」と転がす感じを試していた。

## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・0歳児・・・葉っぱとつるを見たり触り、種にはあまり興味がなかった。乾燥した種を耳元で振ると音が鳴り、種を見せると驚いていた。  
・1歳児・・・葉っぱを見て触ったり、指でつまみ、実の中に種が入っていることに驚いていた。種が入っていることを保育士が知らせると、実を破き子ども自身で種を出し、種を集め容器に入れて転がる様子を見ていた。  
・2歳児・・・指で実をつついたり、つまみながら実の感触を味わい、乾燥した実は「カサカサ音がする」と音に気づくなど聴覚でも種を感じていた。匂いを嗅いだり、出てきた種の色が違うことに気づき、色別に容器に入れていた。  
・3歳・・・種の模様や色を友達と共有したり、種の数を知る子がいたり、数字への興味が出てきて成長を感じた。  
・4, 5歳児・・・種の中身に関心があり、皮をむいたり切って断面を見ていた。電子黒板を使って拡大して見る活動へ繋がられたのではないかと意見もあったので、ふうせんかずらだけに限らず、他の種も見たり触れたりして、次回の活動や普段の遊びの中で実践できたらと思う。